

新富町 議会だより

128号

2025年10月

新富町地区敬老会

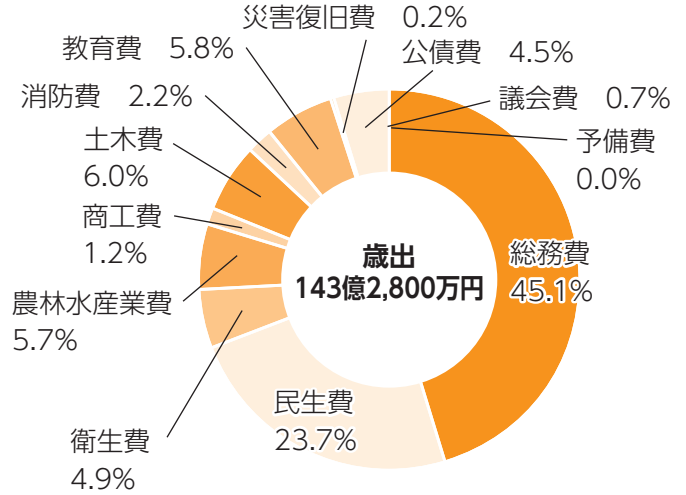
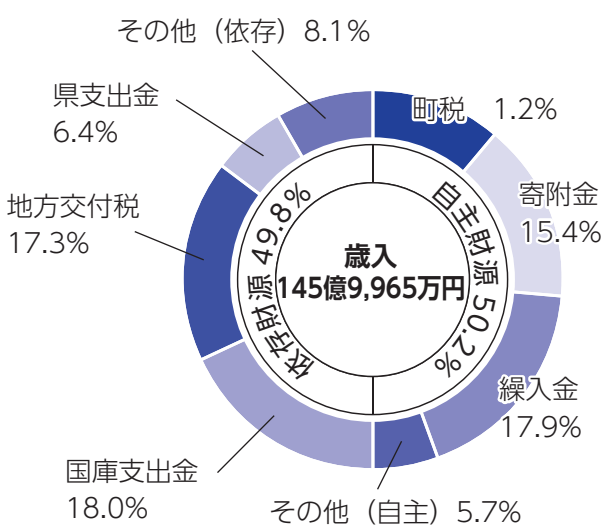


9月定例会

- 表紙「新町地区敬老会」
- 令和6年度決算報告
- 令和7年度事業一覧
- 9月定例会 一般質問(7名)
- 議案審議結果
- 議会報告(防衛省他関係部署要望活動)
- Pickup(新町地区敬老会)



令和6年度新富町一般会計決算を承認



令和6年度新富町一般会計決算の認定についてご報告いたします。実質収支は2億2,812万円の黒字でした。歳入は145億9,964万6千円、歳出は143億2,800万1千円で、いずれも前年度を上回り、町税は定額減税の影響で3%減の16億3,564万7千円だったが、地方特例交付金が約6.5倍に増加し補填。税徴収率は98.1%と過去最高を更新した。ふるさ

と納税は21億4,140万5千円、企業版は1億578万円。歳出では人件費・扶助費が増加、公債費は借換債の影響で減少。財政調整基金は2億2,149万1千円増、地方債残高は3億2,498万5千円減。財政力指数0.45、経常収支比率86.9%など、健全化判断比率はすべて国基準を下回り、健全な財政状況が確認され、全会一致で認定しました。

令和6年度特別会計・水道事業会計決算をそれぞれ承認

国民健康保険特別会計

歳入 20億6,135万4千円
歳出 20億3,630万4千円

介護保険特別会計（保険事業勘定）

歳入 18億1,897万4千円
歳出 17億4,059万2千円

後期高齢者医療特別会計

歳入 4億8,879万円
歳出 4億8,769万1千円

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

歳入 1,600万9千円
歳出 1,524万6千円

西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計

歳入 25万3千円
歳出 13万2千円

土地取得特別会計

歳入 2億4,659万5千円
歳出 2億4,625万円

令和6年度の特別会計決算は、国民健康保険特別会計が歳入20億6,135万4千円、歳出20億3,630万4千円で、実質収支は2,505万円。保険料収納率は98.14%(前年度比0.16%減)。保険給付費は66.8%を占め、被保険者数減少により8.0%減。介護保険特別会計(保険事業勘定)は歳入18億1,897万4千円、歳出17億4,059万2千円、実質収支は7,838万2千円。保険料収納率は99.8%。歳出の77.7%を占める保険給付費は、前年比1.8%増。

後期高齢者医療特別会計は歳入4億8,879万円、歳出4億8,769万1千円、実質収支は109万9千円。保険料収納率は100%。介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)は歳入1,600万9千円、歳出1,524万6千円、実質収支は76万3千円。今後も健康寿命の延伸と地域包括ケアシステムの深化、推進に取り組む方針を確認。いずれも健全と認め、全会一致で認定しました。

令和6年度 水道事業会計決算

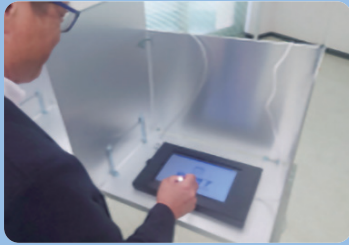
総収益 2億9,693万3千円
総費用 2億7,840万5千円
純利益 1,852万8千円

令和6年度の水道事業は、有収率85.18%で前年より有収水量が5万6千m³減少。給水戸数は5,984戸に増加。収益的収支は収益約2億9,693万円、費用約2億7,840万円で純利益1,852万円。資本的収支は約1億8,754万円の支出に対し収入は約3,263万円。不足分は消費税調整額等で補填。委員会では老朽配管の耐震化や広域水道統合の進捗が議論され、全会一致で認定しました。

令和7年度 一般会計補正予算を可決

5億5,445万6千円を追加補正

取組事業(一部抜粋)



電子投票実施支援業務委託(新規)

事業費 1,153万4千円

タブレット端末等を利用した電子投票及び開票業務を行うための経費



農畜産物販売促進協議会補助金

事業費 210万円

町内の中学校3年生を対象に新富町産食材を用いた食育授業に係る取組への補助金



※イメージ画

移動式排水ポンプ購入ほか(新規)

事業費 1億4,400万円

内水氾濫時の排水、大規模災害時の消火用水確保のための移動式排水ポンプ等の購入費



車載式草刈機購入(新規)

事業費 1,550万円

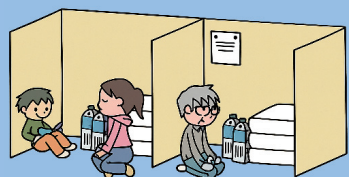
道路沿いや路肩の雑草木除去のための車載式草刈機の購入費



公共土木災害復旧費(新規)

事業費 1,400万円

台風15号で被害を受けた町道や、土砂・立竹木の撤去に係る費用



避難所用資材購入

事業費 100万円

避難所用パーテーション、ベット、マット等の購入費



み うち ちひろ 議員
三 浦 千 尋

企業誘致の進捗について

町長 新規認定1社、相談中1社、
町 事前相談中が3社ある

問 働く場所作りは人口流出を止め、町の再生に欠かせない。本町への企業進出にはどんな問題があると思うか。

町長 まとまった工業団地がなく、区画の整備、下水排水整備がされていないことも不利な条件である。

問 企業と自治体を結ぶものは共に歩んで頂ける担当者の情熱、それを一緒に考えて行くマッチングと共有だと思うが今後の方針を伺う。

町長 特にこの8年間、企業が来ている。サッカースタジアムや直売所も加わり、関係人口増により消費動向も16億2千万円程度発生。町内回遊、滞在が今後の施策の大きな柱と考える。



スマートIC周辺の企業誘致に期待

町内の活性化について

問 地方創生交付金制度の名称で始まった、第2世代交付金を活用した事業についての推進見込み、考えを伺う。

町長 若者や女性に求められるビジネスを創ろうとする取り

組みを進めており、今年度の成果をもとに次年度の申請に向けて尽力していきたい。



“工場増床”で居住者増へ

問 台北市萬華区との学生派遣、アスリート交流、産業振興など総合交流で高く評価している。今後、台湾の企業誘致等期待するが友好都市協定の進捗について伺う。

町長 台北の中でもスポーツ協会、商店会会長との繋がりでの拡大に努めている。

問 積極的な交流拡大のため、議会も一緒になって枠作り出来ないのか伺う。

町長 多くの台北議員、国会

議員参加のもとで協定を結んだ。議員の皆さんにも同行いただく機会が出てくるだろうし、半導体関連の町内企業様にも声かけし情報収集するなど、新富町はやれる事をやっていきながら、周辺市町とも連携し計画していく。

教育行政について

問 地域の未来を託すため、児童生徒の確保が急がれる。A1、英会話等特徴ある教育の取り組みも他自治体に先駆けて必要ではないか。

教育長 教育は大きな転換点にあり、子どもたちが魅力を感じるような特色ある教育展開が必要である。本年度から協議会を立ち上げて学校の未来図をもう一度練り直したいと考えている。

スマホで視聴
できます



おおき しゅんじ
大木 俊二 議員

全国学力テストの結果は

教育長 **小中学校ともに国、県の平均、またはやや上回る**

問 全国学力テストの結果に対する評価は。

教育長 学力テストの結果については、小学校は国語、算数、理科ともに全国及び宮崎県の平均程度であった。中学校は、国語、数学、理科ともに全国及び宮崎県の平均程度か上回っている。ただし、教科によりそれぞれ学力は異なるため、全ての教科の平均で学力を判断するのは難しいと考えている。

問 理数教科の苦手意識の改善対策はしているか。

教育長 理数教科に苦手意識のある児童生徒への対応として、授業のはじめに既習事項の復習を行ったり、Aードリルを用いた習熟度別の学習を行っている。

る。

問 児童生徒質問調査の主体的、対話的で深い学びに取り組んでいるかの問いに対してはどうであったか伺う。

教育長 新富町では主体的、対話的で深い学びに関わるアンケート項目の多くが、小、中学校とともに全国平均を上回っている。



デジタル授業で進める働き方改革

鳥獣被害対策について

問 鳥獣被害の現状について伺う。

町長 鳥獣被害の現状については、過去3年間の主な鳥獣捕獲数及び被害額は、令和4年度は、サル7頭、イノシシ13頭、シカ1頭で被害額約392万円、令和5年度は、サル12頭、イノシシ19頭、シカ5頭で被害額約390万円、令和6年度は、サル13頭、イノシシ24頭、シカ5頭で被害額約390万円である。

問 電気柵等の購入補助内容は。

町長 農作物被害防止のための電気柵購入に対して一部を助成する県、及び町の補助事業の取組みを行っている。

問 町内で猿被害が問題となっているが、新富町で電気柵の設置、地区には箱罾を貸し出す等の考えはないか。

町長 住宅地に関しては、箱

罾などを設置して対応している。被害防止対策として、電気柵の設置については検討していく。

問 鳥獣被害が多い場所を中心に樹木等の伐採はできないか。

町長 森林には緩衝帯としての効果もある。伐採については個人所有の場所もあるので難しいが、町有地については検討していきたい。



年々深刻化！効果的な対策を！



スマホで視聴
できます▼



い び かね ひさ
捐 斐 兼 久 議員

F35Bデモ飛行に関する 町長の感想は

町長 騒音時間が長いと思っ
た

問 F35B関連の今後の進め
方は。

町長 騒音対策や安心・安全
対策を担保したうえで訓練を
要望している。諸問題を解決し、
住民の住環境確保ができるよう
に努める。

問 防音工事の現状は。

町長 令和7年8月末で希望
届数が約380世帯。約130
世帯が完了。引き続き周知を凶
つていく。

問 要望活動の成果として、

「住宅兼用の事務所・商店の防
音工事が可能」「防音工事限度
額の毎年見直し」「騒音区域の
見直しは早急に始める。その際、
平成28年度の案よりは広くな
る」という成果を得たが間違い
ないか。

町長 そのように認識してい
る。そのほか、基地交付金、調

整交付金も必要な配慮がなされ
るものと認識。



F35Bデモフライト

問 整備拠点の誘致に関する
現在の動きは。

町長 様々な課題等を関係機
関に確認を取りながら検討して
いる。引き続き実現性を考慮し
活動していく。

防災、危機管理について

問 今年度の防災訓練の予定

は。

町長 10月26日に、津波浸水
想定区域の各地区で、それぞ
れの避難場所へ避難する訓練を予
定している。

環境問題について

問 無記名で分別のできてい
ないゴミの対応は。

町長 中身などから世帯を特
定できる場合は指導を行い、特
定できない場合は、1〜2週間
置いたのちに対処をしている。

問 分別のできていないゴミ
は地区外の人が多いように感ず
るが、行政がしっかりと対応し
てほしい。

町長 努力する。

問 モバイルバッテリー等の
回収要領は。

町長 近隣の大型家電量販店
など、専用の回収ボックスを設
置している店舗を紹介している。
そこで回収できない場合は役場
において回収する。廃棄する場
合は絶縁処置を確実に行ってほ
しい。



絶縁処理を
確実に

農業関連について

問 今年の生産者米価、出荷
量は。

町長 玄米30kg1等米で昨
年より5,500円高い16,
300円だった。出荷量は昨年
より44t少ない616tを見込
んでいる。

問 来年以降米の増産は可能
か。

町長 加工用米、WCSから
の転換によるものであるが、主
食用米の作付面積が56ha増加
している。米価高騰が続き転換
が進めば、主食用米の増産は可
能と判断。



食卓に欠かせないお米

学校教育関連について

問 宮崎県教職員の残業過多
について。

教育長 残業減に努力する。

スマホで視聴
できます▼



いまむら ぶきのが 今村 行信 議員

F・35Bの夜間垂直着陸 訓練は

町長 現行案は認めることが できない

問 受認限度を超える騒音負担がある現状から、更なる騒音負担となるであろう夜間垂直着陸訓練での練度向上のための訓練計画には、必要性を感じられないので、国の訓練計画には理解がたい思いである。町長の思いは。

町長 馬毛島の自衛隊施設整備が遅れることによって、新田原基地で負担をしなければならぬ訓練についての回数については、現行案は認めることができない。あまりにも負担が過大すぎる。特に夜間訓練について大幅に減らしていただくよう国に伝えている。

問 8月7日の飛行実演については。



※イメージ画

騒音を体感。居住区域では不安の声

町長 騒音時間がほかの戦闘機と比較しても長かった。今回の飛行実演は、町民の皆様におかれましても重要な機会であったと感じている。また、基地内で体感された区長さん方から「思ったより大きくなかった。」「三納代の温泉周辺で体感された方からは、「あんだけ長い音がしたんでうるさかった。」「等の声を聴いている。

問 2回目の町民説明会についての国との協議は。

町長 前回実施したところでは、しっかりとやるよう伝えていく。

問 早期の騒音区域の見直しを国に求めるべきだと思っっているが。

町長 近々、防衛省に行つて、早急に騒音度調査を実施するよう要望する。議会の協力をいただきたい。

災害関連死対策では備品の備えが必要

問 南海トラフ巨大地震での国・県の被害想定見直しに伴う本町への影響は。

町長 住居エリアにおける「浸水想定区域」の変更はなく、被害想定に変更は生じてない。

問 避難所における備品について。

町長 アルファ化米等の食料品、飲料水、粉ミルク、哺乳瓶、

毛布、携帯トイレ、段ボールベツト、パーテーションなどを備えており、更に充実させるよう努めている。



避難生活の不安解消を

問 災害関連死が発生しないための対策は。

町長 災害弱者である高齢者や障がい者、妊婦等「要配慮者」が災害関連死を招かないよう対応のための諸資材の充実を進めている。また、健康管理のため、巡回による健康状態の把握や、高齢者の「孤立」を防ぐためコミュニティーの維持も重要であると認識している。

スマホで視聴
できます▼



まつ 浦 美 緒 議員

命を守る水泳授業は

教育長 「着衣泳」など命を守る泳ぎ方など実施

問 水泳授業の実施状況を伺う。

教育長 各学校とも6月中旬から7月中旬にかけて実施している。指導者は児童生徒の安全確保のため複数人での対応を行ったり、暑さ対策として「授業開始のあいさつや準備運動までは室内で行う」「プールサイドにテントを設置する」など各学校において色々な熱中症対策や安全対策を行いながら実施している。



命を守る授業としての一面も

問 民間施設の活用や水泳指導の外部委託の考えは。

教育長 プールについては施設の老朽化もあり、毎年、確認や修繕を行いながら運営しているが、今後、大改修が必要になった場合には町内民間施設を利用し授業をおこなうことも考えの一つだと思うので、実施可能かなど民間施設業者への外部委託も含めた協議を行っている。

熱中症対策について

問 職員に対して空調付きベ

スト等を導入する考えはないか。
町長 高温時においての屋外作業も想定されるので熱中症予防の観点からも、空調付きベ

ストの導入について検討する。

危険な暑さへの十分な配慮



問 マイボトルを利用した給水スポットの設置について伺う。

町長 現在本町においてマイボトル用給水機の設置は行っていないが、近年の気温上昇や猛暑日数の増加により、熱中症対策の重要性が一層高まっていることから、こまめな水分補給を促す環境整備は、町民の健康を守るうえでも重要であると認識をしている。どのような対応が有効であるか研究をしていく。



健康・環境の両面で効果

ごみ対策について

問 旧藤山ゴミ処理場の課題

を伺う。

町長 様々あるが一つとして住民一人当りの搬入量が西都児湯管内の平均より多い傾向になっている。

問 粗大ごみが多い原因はどのようなことが考えられるか。

町長 原因をつかむことは難しいが、苦慮していることの一つに町外の方や事業者の方が持ち込むケースが見受けられる。

問 対策強化や他の自治体の様に有料化の考えはないか。

町長 料金設定を検討しているのも一つの手であるが、町民負担になるため慎重に検討していきたい。

問 充電式電池の回収に関する町民への周知は。

町長 町のホームページやライオンで行っているが、今後は文書での全戸配布も行う。

スマホで視聴
できます▼



は た の おさむ
羽 田 野 おさむ 議員

防災対策と災害弱者への対応は

長 段階的な整備と個別避難計画の策定を進めている

問 最低限の生活環境を定めたスファイア基準への対応状況は。

町長 現状未達であるが、避難所運営を適切に行うことで理想には近づける。優先順位を定め段階的に整備を進める。

問 避難情報発令のタイミングに不安を感じる。特に災害弱者と言われる方には早めの情報発信が必要では。

町長 避難情報の発信は、気象状況や安全性を総合的に判断して行っており適切と考える。避難行動要支援者については、個別避難計画をもとに、登録された支援者に初期対応をお願いしている。

小中学校の学校運営と地域連携は

問 地域学校協働活動推進員の配置と役割を伺う。

教育長 地域学校協働活動推進員は常勤1名、非常勤2名体制で、学校と地域をつなぐキ

パーソンとして活動し、教育の理念に基づいた提案と調整を担っている。

問 部活動支援の人材確保の現状を伺う。

教育長 部活動支援の人材バンクへの登録は増えていない。指導の範囲、責任の所在、活動時間などの懸念から応募がないと考える。今年度は部活動統括コーディネーターを配置し、顔の見える形で人材発掘を進めている。

※出典：スポーツ庁ホームページ



“やりたい”をできる環境を！

第2期「まち・ひと・しごと」創生総合戦略の進捗と評価は

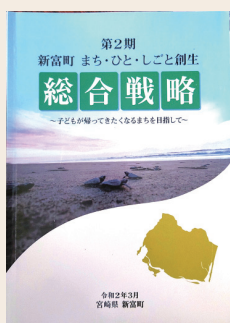
問 若年層人口の目標設定で、この数年平均45名程度減少している中で令和8年度に12名増の目標を立てている根拠と、この

目標に新田原基地の部隊編成による増員が想定されているのか伺う。

町長 なるべく目標値として現状を維持していきたいということに据え置いている。部隊再編による増員は考えられるが、目標設定には加味されていない。

問 現在設定されているKPIで町長の掲げるビジョンを達成できるのか伺う。

町長 現在のKPIでは十分と言えない。P D C A サイクルも効果的に回せていない点も課題である。短期的に設定したものを確実に積み上げ、検証・更新していくことが必要。



新富町の未来設計図



※①KPIとは業績を評価し管理するための指標 ※②P D C Aとは計画・実行・評価・改善を繰り返すビジネスサイクル

スマホで視聴
できます▼



あ まん せい ろう
阿 萬 誠 郎 議員

民生・児童委員の制度改善を

長 しっかり改善を求めて
町 行きたい

問 現在、3年に一度の民生委員・児童委員選任について、14名の民生委員推薦会委員で本町の定数34名の選考が行われており、限られたエリア内での選考は容易ではない。この制度を持続可能なものとするには、多様な人材との繋がりのあるNPO法人、福祉団体等の組織に町から業務が委託できる仕組みとなるよう県に制度改善を求めたい。

町長 民生児童委員の選任は大変厳しいとされている。しっかりと改善を求めて行きたい。

成法寺住宅跡地の早期整備を

問 成法寺住宅跡地は、今後

どのような整備方針なのか。
町長 地域の皆様のご意見では、ブランドゴルフ等で使用できる多目的広場の整備を望む方が多く、サウンディング型市場調査の結果、総合的に判断した上で「多目的広場と住宅地」として整備を目指したい。



早急な基本計画案の提示を

地区のあり方検討委員会を

問 地区加入戸数が令和5年

度3284戸から令和7年3068戸で216戸減と年々減少傾向にある。また、一桁の戸数しかない地区が3地区あり、運営が厳しい状況にある。この大きな課題に重点的に取り組むため、仮称「自治会のあり方検討委員会」が必要では。

町長 地区運営に関して深刻な懸念を抱いている。戸数の減少により、運営そのものが困難であったり、役員の担い手不足や、区長の交代が長らく行われていない地区も存在しており、地域の持続的な運営体制に課題が生じている。

こうした状況を踏まえ、今後の地区のあり方について、改めて丁寧に検討を進めていきたい。

感震ブレイカーの設置を

問 大地震時の備えに、木造住宅密集地や障害者世帯等を優先的に「感震ブレイカー」の設置はできないか。

町長 早速、検討してみたい

と思う。

受益者負担軽減に善処を

問 要望のあった、金丸頭首工維持補修は長期的改修になるが、事業費等の増額に伴う受益者負担軽減に善処していただきたい。

町長 宮崎市と西都市と新富町の関係になるので、負担のバランスを2市1町で図りながら負担を軽減できるようにしっかりと検討して行く。



重要インフラの計画的な維持管理を

※③サウンディング調査とは、地方公共団体が所有する土地や施設の活用方法について、民間事業者から広く意見を聞く事。

令和7年9月定例会 議案等の審議結果

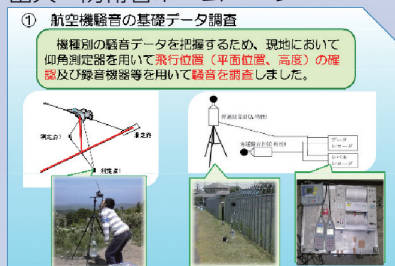
番 号	件 名	結 果	
議案第43号	令和7年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第44号	令和7年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第45号	令和7年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第46号	令和7年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
議案第47号	令和7年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第48号	令和7年度新富町水道事業会計補正予算	可決	全員
議案第49号	令和6年度新富町水道事業会計剰余金の処分について	可決	全員
議案第50号	新富町の議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例	可決	全員
議案第51号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第52号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第53号	新富町都市公園条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第54号	新富町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第55号	新富町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第56号	新富町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第57号	工事請負契約の締結について(令和7年度 準用河川五反田川災害復旧対策工事)	可決	全員
議案第58号	工事請負契約の締結について(令和7年度 防衛施設周辺民生安定施設整備事業越馬場～野中線道路改修工事(1工区))	可決	全員
議案第59号	工事請負契約の締結について(令和7年度 防衛施設周辺民生安定施設整備事業越馬場～野中線道路改修工事(2工区))	可決	全員
議案第60号	工事請負契約の締結について(令和7年度 防衛施設周辺民生安定施設整備事業 越馬場～野中線道路改修工事(3工区))	可決	全員
議案第61号	工事請負契約の締結について(令和7年度 防衛施設周辺民生安定施設整備事業 観音橋側道橋設置工事)	可決	全員
議案第62号	物品売買契約の締結について(令和7年度 宮崎県公立学校情報機器整備事業補助金(公立学校情報機器購入)新富町立小中学校G I G Aスクール用タブレットPC購入)	可決	全員
議案第63号	公の施設の指定管理者の指定について(新富町文化会館)	可決	全員
議案第64号	令和7年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
認定第1号	令和6年度新富町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第2号	令和6年度新富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第3号	令和6年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第4号	令和6年度新富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について。	認定	全員
認定第5号	令和6年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第6号	令和6年度新富町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第7号	令和6年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第8号	令和6年度新富町水道事業会計決算の認定について	認定	全員
報告第10号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定め和解することについて)	—	—
報告第11号	令和6年度決算に基づく新富町健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—
報告第12号	債権放棄の報告について	—	—

安心・安全な生活環境の確保は必要！

主 な 要 望 事 項

- ・第1種区域見直しに係る騒音度調査の早期実施
- ・調査結果に基づく住宅防音工事等の環境対策の実施
- ・垂直着陸訓練（特に夜間）の回数見直し
- ・馬毛島完成後の夜間訓練については原則的に実施しないこと

出典：防衛省ホームページ



騒音度調査の早期実施



防音工事等の環境対策

イメージ画



馬毛島完成後の夜間訓練原則不実施



江藤拓衆議院議員

F-35Bの性能を評価しつつも、騒音や事故への住民不安に言及。新機体導入時の不安は過去のオスプレイ配備時にも見られたとし、地域との信頼関係の重要性を訴えた。

阿萬議長総括

今回、垂直着陸訓練回数をはじめ、要望に対する明確な軽減策についての回答は得られなかったものの、当日要請の場に防衛大臣が対応されたことには感謝したい。その上で、改めて現行の訓練計画は認められるものではなく、特に馬毛島完成後の夜間訓練については、限りなくゼロに近い回数となるよう求めたところであります。

今後も国の動向に注視し、執行部と連携を図りながら、住民への負担軽減対策の実現に向けて要望活動を継続してまいります。

【令和7年度 基地対策特別委員会 要望活動報告】

基地対策特別委員会では、6月・7月に防衛省・総務省・財務省へ要望活動を行いました。防衛省からは、騒音区域見直し後の「指定再告示方式」により、対象住宅すべてに外郭防音工事が可能となること、店舗・事業所併用住宅の防音工事対象化への検討、工事費限度額の引き上げ調整など、前向きな回答を得ました。また、防衛関連交付金についても

所要額の確保に努めるとの回答がありました。財務省からは、F-35B配備による騒音増加への対応を検討する旨、総務省からは地域の声を受け止め検討するとの回答をいただきました。町民の声を国に届けるこの活動は、安心・安全な生活環境の確保に向けた重要な取り組みです。今後も執行部と連携し、快適なまちづくりのため継続してまいります。

国防の重要性は理解。しかし町民の

新富町議会 防衛省訪問報告書 (令和7年9月12日)

令和7年9月12日、新富町長と町議会は防衛省を訪問し、F-35B配備に伴う地域への影響について正式に要望。町長・議長・議員9名が参加し、江藤拓衆議院議員の同行のもと、中谷防衛大臣らと意見交換を行った。



小嶋町長・阿萬議長・江藤拓衆議院議員・議員9名



小嶋町長

F-35B配備の意義は認めつつ、夜間訓練の頻度や騒音への住民不安に配慮し、地域の理解と環境対策を重視。馬毛島完成後の夜間訓練は原則中止を強く要望。



阿萬議長

定例会会期中にもかかわらず議会全体で訪問したことを強調。夜間訓練による住民負担の軽減を求め、町長と同様に馬毛島完成後の夜間訓練の原則不実施を要望。



中谷防衛大臣

地元の理解と協力に感謝を述べた上で、騒音調査の実施と第1種区域の見直しを検討する姿勢を表明。垂直着陸訓練の負担軽減策についても真摯に検討中であり、準備が整い次第地元への説明を行う意向を示した。



地方協力局長

地訓練回数の見直しについては「負担軽減策として検討中」と説明。馬毛島完成後の夜間訓練に関しては、住民の意向を受け止めた上で検討し、後日回答する方針を示した。



Pick up



新町地区 敬老会

目の前の食事はお持ち帰り(正門)〜



獅子舞も登場〜



琉球國祭り太鼓による演舞



にゆかに新型コロナ感染者も増えてきたということで、開催していいものか悩みましたが、最小限の感染対策を実施したうえで開催となりました。食事、アルコールなしということで、ちょっぴり物足りない感もありましたが、役員一同知恵を絞って楽しい出し物を用意。

このあと「マツケンサンバ」を踊りました



琉球國祭り太鼓やウィアマテラス宮崎「スットコドッコイズ」によるステージで、皆さん笑顔になりましたよ(〜♪) みはさん、来年も元気で集まってくださいねー (新町地区役員一同より)

豆知識

敬老の日は、1947年に兵庫県多可郡野間谷村（現在の多可町）で当時の村長が「老人を大切に、お年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という趣旨で開いた敬老会が始まりです。この取り組みは村から県、県から全国に広がり、1966年に9月15日を国民の祝日である「敬老の日」として定められました。その後、2003年からはハッピーマンデー制度により9月の第3月曜日に変更になりました。



自民党の新総裁が決まった。議会広報紙が届くころには、日本初の女性総理が誕生していることであろう。今後の手腕に期待したい。現在の日本は、「防衛・外交」「農業政策」「経済対策」「物価高対策」「医療・介護」「少子高齢化」などの問題が山積みである。問題解決のための政策は、中央政府の独りよがりではなく、地方の現状をよく見据えたうえで打ち出したい。ただきたいものだ。農業を主産業とし、基地を抱える新富町の議会としては、生産者や基地周辺住民の現状をしっかりと把握し、執行部と足並みをそろえて積極的に要望活動をしていきたい。

議会広報特別委員会

- 委員長 羽田野 治
- 副委員長 小山 早苗
- 委員 今村 行信
- 松浦 美緒
- 石崎 俊二
- 損斐 兼久

連絡先 議会事務局

☎ 333-6139